

2024年 第38週（9月16日～9月22日）の感染症発生動向調査情報

<今週の内容>

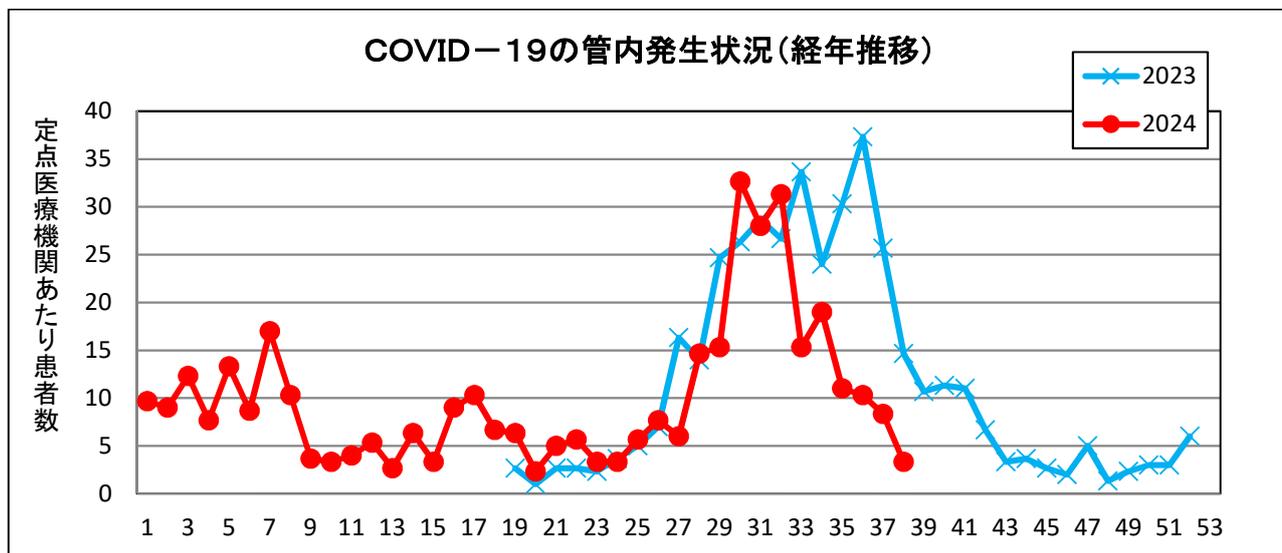
- 1 新型コロナウイルス感染症について
- 2 管内の感染症発生状況（新型コロナ以外のもの）
手足口病は、依然、警報レベルとなっています。

1 新型コロナウイルス感染症について

管内では、定点あたり報告数は今週3.33人（先週8.33人）で先週から減少し、兵庫県内の定点あたり報告数も今週2.95人（先週3.11人）となり、先週から減少しました。地域別では、福崎保健所管内が7.00人と最も多く、赤穂保健所管内6.33人、姫路市保健所管内4.84人となっており、年齢別では、10歳代が22%と最も多く、次いで80歳以上が12%となっています。

また、県内の社会福祉施設等においては、今週4件（先週4件）の集団発生が報告されています。

県民の皆様には引き続き3密の回避、手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用といった基本的な感染症対策をお願いします。



注) 2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症は定点把握になりました。

<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)に関する情報](#)

[兵庫県感染症情報センター](#)

◆厚生労働省ホームページ

[新型コロナウイルス感染症について](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[新型コロナウイルス\(COVID-19\)関連情報ページ](#)

2 管内の感染症発生状況（新型コロナ以外のもの）

(1) 管内の全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症）

第38週は、侵襲性肺炎球菌感染症が1件報告されました。

(2) 定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）

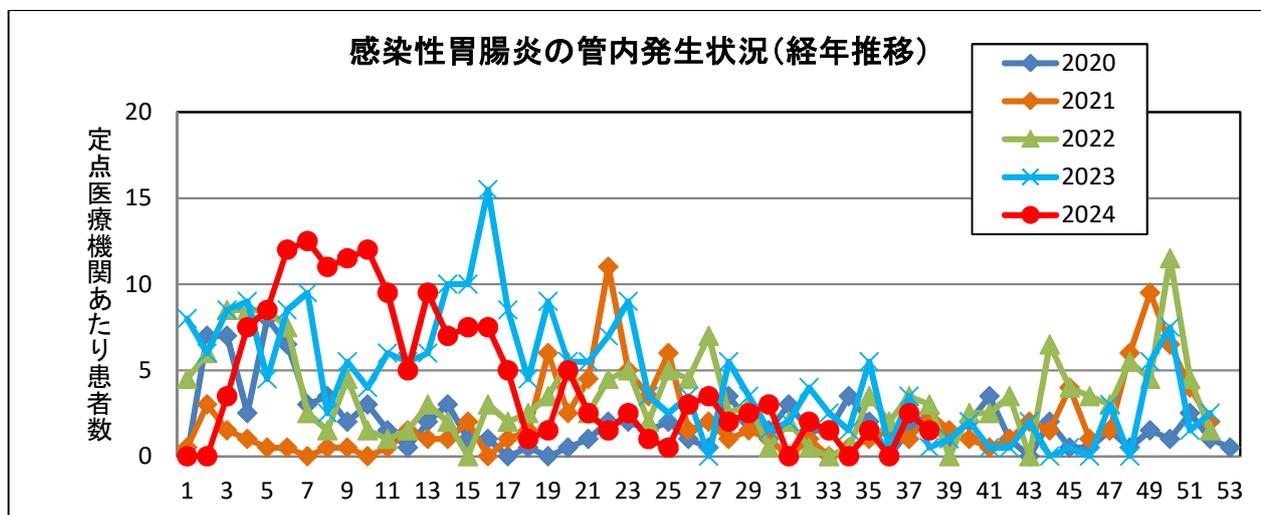
（2024年38週）※定当：定点あたり患者数

インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		COVID-19	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
-	-	-	-	-	-	1	0.5	3	1.5	-	-	14	7	1	0.5	-	-	10	3.33

ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎4(ロタウイルス)	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

管内では、感染性胃腸炎の定点あたり患者数が1.50人で、先週（2.50人）から減少し、兵庫県でも3.25人で、先週（4.02人）から減少しました。

トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗うようにしてください。また、便や嘔吐物を処理する際は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗ってください。カキなどの二枚貝を調理する際は、中心部まで十分に加熱してください。



<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[感染性胃腸炎\(ノロウイルス等\)について](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[感染性胃腸炎とは](#)

また、管内の咽頭結膜熱の定点あたり患者数は0人で、先週（1.50人）から減少し、兵庫県では0.21人で、先週（0.19人）から増加しました。咽頭結膜熱は通常夏期に流行し、多くは飛沫感染、あるいは手指を介した接触感染であり、結膜あるいは上気道からの感染により拡大します。流行時には、流水とせっけんによる手洗い、うがいを励行し、タオルは別に使うなど、感染者との密接な接触を避けるようにしましょう。

<感染症に関する情報>

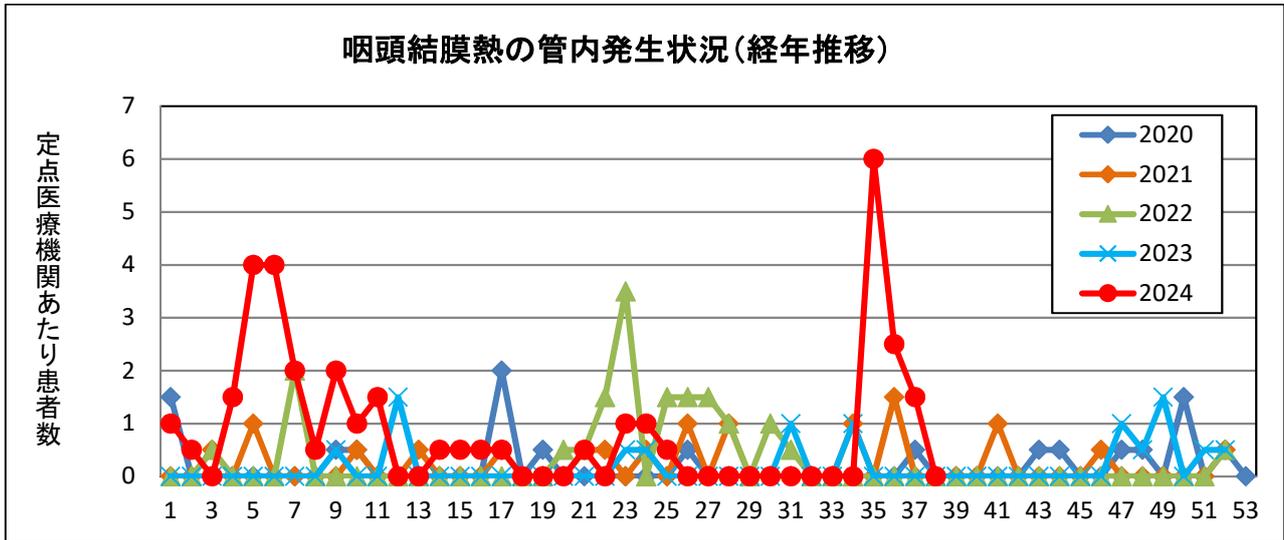
◆兵庫県ホームページ

[咽頭結膜熱\(プール熱\)の流行に注意してください](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

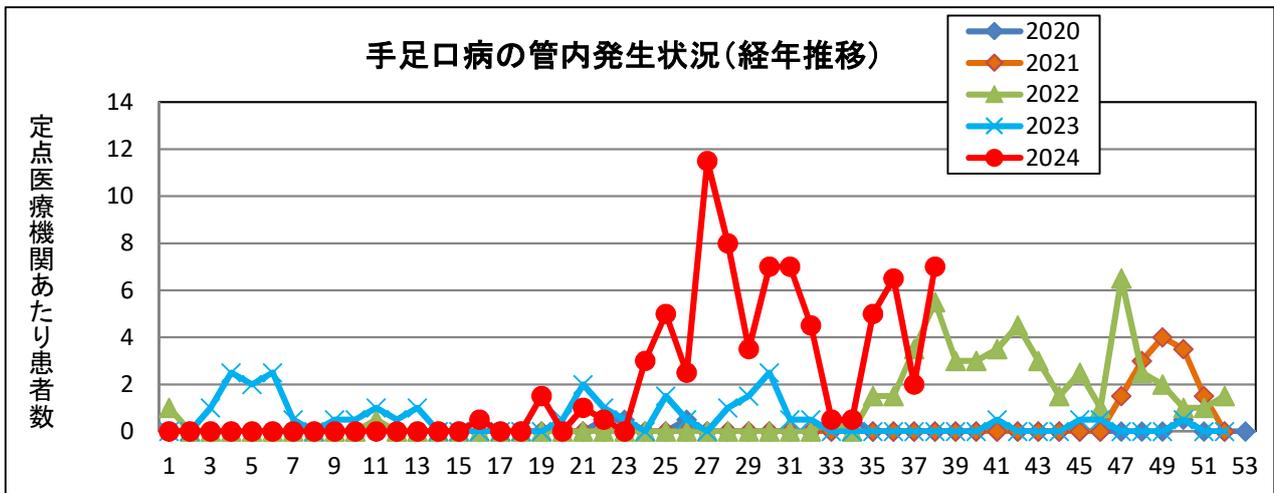
[咽頭結膜熱とは](#)

咽頭結膜熱の管内発生状況(経年推移)



また、管内の手足口病の定点あたり患者数は7.00人で、先週(2.00人)から増加し、依然、警報レベルとなっています。兵庫県では6.71人で、先週(6.95人)から減少しました。手足口病は、手のひら、足の裏、口の中、おしりなどに米粒大の小さなもりあがった発疹が見られます(1週間程度で治ります)。ときには手や足の甲にも出ることがあります。よだれも増え、37~38℃の発熱が1~3日程度続くことがあります。手足口病のウイルスは、おもに便や鼻汁などの分泌物のなかにおり、手を介して口に入ることによって感染するので、用便の後などはきちんと手洗いをすることが大切です。

手足口病の管内発生状況(経年推移)



<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[夏の感染症にご注意を!](#)

◆厚生労働省ホームページ

[手足口病に関するQ&A](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[手足口病とは](#)